

平成 24 年 2 月 9 日

【照会先】

大臣官房統計情報部社会統計課

課長 西村 淳 (内線 7541)

課長補佐 新井 信義 (内線 7565)

(代表電話) 03-5253-1111

(直通電話) 03-3595-3107

平成22年 介護サービス施設・事業所調査の結果

厚生労働省では、このほど、平成22年「介護サービス施設・事業所調査」の結果を取りまとめたので公表します。

「介護サービス施設・事業所調査」は、全国の介護サービス利用状況や職員配置状況、利用者への提供内容などを把握し、今後の介護サービス関連施策の基礎資料を得る目的で実施しています。

対象は、介護保険制度における全ての施設・事業所（介護保険施設、居宅サービス事業所など、延べ27万4,886カ所）で、これらの平成22年10月1日現在の状況について調査を行い、回答のあった活動中の施設・事業所（延べ23万1,145カ所）を集計しています。今回は、介護保険施設と訪問看護ステーションの利用者を対象とした調査も実施しました。

※ただし、訪問リハビリテーション(介護予防としてのサービス含む。以下同じ)、居宅療養管理指導、医療施設がみなしで行っている訪問看護・通所リハビリテーションは除く。

なお、調査方法の変更などにより回収率が変動しているため、集計結果には施設・事業所数や在所者数、利用者数、従事者数などの実数は載せず、平成21年以前との年次比較も行っておりません。

《調査結果のポイント》

<施設・事業所調査>

- ・施設・事業所が提供するサービスを平成22年9月に利用した人について、1人当たり利用回数をサービスの種類別でみると、「小規模多機能型居宅介護」が28.9回と最も多く、次に「訪問介護」が16.9回となっている。（7頁 表5）
- ・介護保険施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）の全在所者に占める、「介護療養型医療施設」の在所者数割合は年々減少し、9.8%となっている。（9頁 表8）
- ・介護保険施設のうち、「個室」の割合が最も多いのは介護老人福祉施設の63.1%（平成21年61.7%）。（10頁 表10）
- ・介護保険施設の在所者の要介護度がここ数年重度化しており、施設別の平均要介護度は、介護老人福祉施設3.88、介護老人保健施設3.32、介護療養型医療施設4.39（11頁 図4）

<利用者調査>

- ・介護保険施設を退所した人が「家庭」に戻った割合をみると、家庭への復帰を目的とする介護老人保健施設が23.8%と一番多い。（14頁 図7）

詳細は、別添概況をご参照ください。